

令和4年度 学校だより



＜保護者配布版＞ No. 17
令和5年1月10日
豊岡市立高橋小学校



このQRコードから学校のHPにアクセスできます。

<http://www2.city.toyooka.hyogo.jp/edu/school/takahashi-es/>

新年 明けましておめでとうございます

今年は足下の広いお正月でした。皆様には、穏やかで希望に満ちた令和5年の新春をお迎えのことと存じます。

さて、子どもたちは17日間の冬休みを終え、気持ちを新たに登校してきました。合橋小学校への統合や中学校への進学を控え、子どもたちがどのような新年の抱負をいただいているか、明日の書き初め大会がとても楽しみです。子どもたちの作品は、12日から20日まで多目的ホールに展示しますので、どうぞ見にお越しください。



始業式では、その抱負を実現させるために「骨のある人」になってほしいと話しました。さまざまな困難に耐えて、粘り強く取り組む人のことを「骨のある人」と言います。自分の体を使ってものごとをやり遂げるとか、怠けないで一生懸命に取り組まなければ、「骨のある人」とは言えません。そして、骨を強くするためには、体の外から骨に刺激を加えることが大切なのだそうです。困難を乗り越える苦勞が「たくましい骨のある人」を生み出します。新たな世界に飛び出す子どもたちが、努力することや苦勞することをいやがらない「骨を惜しまない」ことを実行して「骨のある人」になってほしいと思います。

高橋小学校最後の学期も、保護者や地域の皆様のお力添えをいただきながら、子どもたちが学習や運動、仲間づくりに精一杯取り組み、ふるさとに誇りをもつ学校づくりに教職員が全力で取り組みます。本校の教育活動に対しまして、変わらぬご理解・ご協力をお願い申し上げます。

お知らせ 1月12日に、城崎国際アートセンターに滞在しているアーティストとの演劇ワークショップを行います。来校者は、フランス在住のデルフィン・ランソンさん（俳優）と間宮千晴さん（ダンサー）です。子どものための参加型舞台作品『マ クリーチャー』（フランス語で生き物の意味）の日本語版創作の参考にするために、子どもたちとのワークショップを行います。そして、お二人が中心となって創作された日本語版の作品を、24日の合橋小学校での通学体験の際に鑑賞する予定です。

【1月の主な予定】

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
10	火	第3学期始業式	17	火	1.17メモリアルデー 避難訓練
11	水	「こつこつチャレンジ」の週 読み聞かせ 書き初め大会 給食開始	18	水	百人一首大会
12	木	身体計測 演劇ワークショップ	20	金	スキー教室（予備日 2月17日）
13	金	安全の日	23	月	クラブ活動
16	月	委員会活動	24	火	第3回 通学体験 HSP 但東中学校入学説明会



保護者アンケートの結果を お知らせします

保護者の皆様には、ご多用中にも関わらずご協力いただき、ありがとうございました。貴重なご意見は、今後の教育活動の改善に向けて参考にさせていただきます。

I 学校教育について

令和4年11月実施

(A そう思う B どちらかといえばそう思う C どちらかといえばそう思わない D そう思わない E わからない)

	項 目	A	B	C	D	E
1	学校は、子どもに勉強をしっかりと教えている。	8	5	0	0	0
2	学校は、子どもの道徳的な心の面をしっかりと育てている。	5	7	1	0	0
3	学校は、全校生が一緒に活動できるようにしている。	9	4	0	0	0
4	学校は、子どもが進んで本を読むように働きかけてくれている。	10	2	0	1	0
5	学校は、学校内の様子が分かるように情報を発信している。	6	6	1	0	0
6	学校は、子どもの心を理解しようとしている。	8	5	0	0	0
7	学校は、子どもの安全を守ろうとしている。	8	5	0	0	0
8	学校は、『高橋』の良さを生かした教育をしている。	9	4	0	0	0
9	学校は、子どもが健康な体をつくるために働きかけている。	6	7	0	0	0
10	学校は、子どもが自分の思いや考えを周りの人に伝える力をつけている。	9	2	1	0	1
11	ふるさと教育(コウノトリ・地域・ジオパークの学習)は、有意義である。	7	6	0	0	0

◇学校の教育活動全体を通して自分を大切にするとともに、互いを思いやり、他者を自分と同じように尊重できる心を育むよう指導を工夫します。

◇今後も、学級通信をはじめ、学校だよりや学校のホームページを通して教育活動や子どもたちの様子を発信します。

◇家庭と連携し、健康で規則正しい生活習慣や望ましい食習慣の形成に向けた取組を進めます。

II 家庭教育について

(A そう思う B どちらかといえばそう思う C どちらかといえばそう思わない D そう思わない E わからない)

	項 目	A	B	C	D	E
1	子どもを、朝、気持ちよく送り出している。	10	9	0	0	1
2	子どもに、宿題や自主学習をきちんとさせている。	10	10	0	0	0
3	子どもに、毎日家族や近所の人に進んで気持ちのよいあいさつをさせている。	8	12	0	0	0
4	子どもに、場に応じた正しい言葉づかいや敬語を使うよう気をつけさせている。	5	15	0	0	0
5	子どもに、家族の一員として仕事をさせている。	7	9	4	0	0
6	子どもに、物を大切に使い、後始末ができるように働きかけている。	7	11	1	1	0
7	子どもに、ゲーム・テレビの時間を決めて、守らせている。	10	5	5	0	0
8	子どもに、発達段階に応じた睡眠(8時間以上)をとらせている。	16	4	0	0	0
9	子どもに、家でも進んで本にふれる環境づくりを行っている。	4	10	4	2	0
10	子どもから、学校であったことをよく聞いてやり、子どもとの会話を持っている。	10	10	0	0	0
11	子どもに、忘れ物がないよう、前日には、必ず学校の準備をさせている。	7	11	0	1	1

【家庭での取組で良くなった事例を一部ご紹介します。】

◇テレビは基本的に晩ご飯の後からお風呂に入るまでの時間のみにした。最初は「テレビ見たい。」とずっと言っていたが、見られない時間に読書をしたり、工作したり、自分で考えて過ごすようになった。

◇学校から帰るとまずゲームをしようとするので、帰ってからすることの順番を決めて、優先順位を伝えることを繰り返すことで、先に宿題に取り組むことが定着した。